

# 【平生町】地域ぐるみの防災キャンプ

## 〈ねらい〉

佐賀地域において、学校・保護者・地域・関係機関が連携し地震や津波災害について学ぶとともに、防災訓練や避難所生活を想定した宿泊体験、救急救命訓練等を含む総合的な体験学習を実施し、児童・生徒が災害発生時において、正しい知識をもとに的確に状況を判断し、自ら安全に行動することはもとより、他の人や社会に貢献できる心と実践力の育成を図ります。

## 実施内容

- 1 実施日時：平成28年8月27日（土）・28日（日）
- 2 実施場所：佐賀小学校体育館
- 3 参加者：佐賀小学校児童12人、平生中学校生徒19人、関係学校教職員12人  
関係学校保護者11人、地域住民200人  
町関係者6人、平生町教育委員会6人、山口県教育委員会1人

## 4 プログラム

【1日目】8月27日（土）

14:30 15:00 16:00 16:50 17:10 18:30 19:30 20:30 21:45

開 会 行 事	【研修Ⅰ】 [講話] 学校防災 アドバイザー	【研修Ⅱ】 [給水訓練] 田布施・平生水 道企業団	【研修Ⅲ】 [グループワーク] 避難所生活 ルールづくり	夕 食	【研修Ⅳ】 [講話] 自衛隊山口地方 協力本部	【研修Ⅴ】 避難所 づくり	就 寝 準 備	停 電 体 験	就 寝
------------------	---------------------------------	------------------------------------	---------------------------------------	--------	----------------------------------	---------------------	------------------	------------------	--------

【2日目】8月28日（日）

6:00 7:00 8:30 10:40 11:30

起 床	後 朝 片 付 け 食	【研修Ⅵ】 [体験型訓練] 心肺蘇生法、簡易担架・車椅子体験、初期消火 町総務課、柳井地区広域消防組合、町消防団	振 返 り	閉 行 事	引 渡 し
--------	----------------------------	---	-------------	-------------	-------------

## 5 活動の様子

### 1日目

#### 《開会行事》

実行委員長の挨拶の後、参加者代表である佐賀小学校児童から、このキャンプに参加をする上での決意が力強く述べられ、1泊2日のキャンプがスタートしました。

#### 《講話 講師：学校防災アドバイザー》

学校防災アドバイザーの幸坂さんから、震災についての講話をいただきました。経験に基づいた説得力のある話に、子どもたちは、震災が起こったときの避難所生活の実態を知り、その厳しさを感じ取りました。



〔開会行事（実行委員長挨拶）〕



〔開会行事（参加者代表挨拶挨拶）〕



〔幸坂さんによる講話〕

### 《給水訓練 講師：田布施・平生水道企業団》

蛇口から水が出ないことを実際に体験し、ライフラインの1つである水の大切さと、その確保の方法について学びました。その後、自分たちが確保した水を使って、「備蓄食料（アルファ化米）による夕食」の準備を行いました。水を入れるだけで食べられる備蓄食料の存在に驚きつつも、日頃の生活がいかに便利で豊かであるかを実感しました。

### 《グループワーク 避難所生活ルールづくり》

避難所生活を行う上での役割分担やルールについて、各グループで話し合いました。縦割り班のため、中学生がリーダーシップをとって、グループをまとめていました。話し合った内容を大判用紙にまとめ、常に確認できるよう体育館の壁に掲示しました。



〔給水訓練の様子〕



〔夕食準備(水を入れ1時間で出来上がり)〕



〔避難所生活ルールづくり〕

### 《講話 講師：自衛隊山口地方協力本部》

自衛隊山口地方協力本部の隊員から、熊本地震の発生後4カ月経った現在も多くの方々が災害と向き合っておられることなどのお話をいただきました。



〔自衛隊員による講話〕

### 《避難所づくり》

地域や保護者と共にダンボールによる避難所づくりを体験しました。初めは、何をどうしてよいかわからず、時間ばかりが過ぎていきましたが、完成後は互いのプライバシーを保障することの大切さを実感できていました。また、実際にダンボールの上で寝ることも、参加者にとって貴重な体験となりました。



〔避難所づくり〕

## 2日目

### 《朝食》

6時に起床し、寝床となったダンボールを片付けた後、朝食（乾パン、保存水）を食べました。昨日からの素食が続き、空腹であるにもかかわらず、不満をもらす児童・生徒は誰一人いませんでした。

### 《体験型訓練 講師：町総務課、柳井地区広域消防組合、町消防団》

佐賀地域の方々と合流し、町の主催する体験型訓練（佐賀地区防災訓練）に参加しました。



〔朝食（乾パンと保存水）〕



〔体験型訓練に地域の方と共に参加〕



〔避難訓練の様子〕



〔簡易担架体験〕



〔初期消火訓練〕



〔心肺蘇生法訓練〕



〔車椅子補助体験〕



〔はしご車等緊急車両の見学〕

《振り返り》《引き渡し訓練》

振り返りをした後に、引き渡し訓練を実施し、全日程を終了しました。参加した児童・生徒はもちろん、保護者や地域の方にとっても大変学びの深い行事となりました。



〔振り返り（ワークシート記入）〕



〔振り返り（避難所生活ルール）〕



〔引き渡し訓練〕

○振り返り結果（４段階評価：単位％）。

項 目	とてもあてはまる	あてはまる	あまり、あてはまらない	全くあてはまらない
以前よりも災害に対する認識が深まりましたか。	58.1	41.9	0	0
「避難すること」の大切さが分かりましたか。	74.2	25.8	0	0
「自分にできること」が見つかりましたか。	9.7	83.9	6.4	0
避難所での生活体験が、今後に活かされると思いますか。	61.3	38.7	0	0

【児童・生徒・保護者の感想より】

- 講演を聞いて、災害に対する知識が身に付いた。少しでも自分にできることを理解して行動にうつせるようにしたい。（中2女子）
- もしも佐賀などで地震や津波が起こったとき、トイレの水が出なくなったときも水をバケツに入れたりすることを教えてあげたいです。（小5女子）
- 自衛隊の方の苦労や、自分たちの安全のため、日々訓練しているのもわかった。これからも、このような方々がいるということをお忘れず感謝しながら生活していきたい。（中2男子）
- 避難生活を送っている人は、毎日こんなところで寝ているのかと思うと、きちんと家があって、布団で寝ることは普段は当たり前だけど、当たり前ではない時もあるんだなと思った。（中2女子）
- 災害の時はお腹いっぱい食べられない。そんな時は我慢する。あれがほしい、これがほしいと言ったらみんなが困るから。（小4男子）
- 今までは、何かあったら自分は人任せだったけど、これからは誰よりも行動ができるし、みんなのために動けると思います。（中3男子）
- 親子で参加させていただいたおかげで、みんなで気持ちを高めることができました。これを機に、我が家の防災について今一度考えてみようと思います。（小学校保護者）